

令和4年度 日本大学危機管理学部 個人研究費 研究実績報告書

所属： 危機管理学部 危機管理学科

資格： 教授

氏名： 吉田 正法

<p>研究課題名</p>	<p>米国の軍事司法制度と課題</p>
<p>研究目的及び 研究概要</p>	<p>わが国での軍事司法制度の制度設計のため、自衛隊と共同対処を行うことが想定されている米国の軍事司法制度の変遷や特徴を明らかにするとともに、実務上直面している課題を明らかにする。米国の例を参照に、わが国有事において想定される課題への対応の必要性、求められる制度設計の考え方を明らかにする。また、米国の軍事司法制度に関する分析を深めることにより、在日米軍問題の一つとして認識される米軍人の法的取扱いの問題に関する考察を行い、改善方法への提言を行う。</p>
<p>研究実績の概要</p> <p>研究の進捗状況・得られた成果・今後の課題・研究実績等</p>	<p>(1) 研究の進捗状況 ①米国の軍事司法制度について、米国の刑事司法制度に対する理解を含めて整理。 ②アフガニスタン戦争・イラク戦争における事例を踏まえた最近の軍事司法制度にかかる論点を踏まえた課題を確認。 ③在日米軍に関する刑事事件に関する米国と日本の刑事司法制度上の違いからくる軋轢について、問題の所在を確認するとともに、両政府の対応についての妥当性を評価。 これらの諸論点にかかる研究を踏まえ、日本における軍事司法制度創設に向けての検討の基盤を得ることができた。</p> <p>(2) 得られた成果 防衛法学会などにおいて発表する機会は得られなかったものの、本研究を踏まえ、本学での講義にもその成果を反映している。</p> <p>(3) 今後の課題 研究内容の成果をとりまとめの上、発表の機会を追求していくとともに、本研究を基礎として、個別の論点についての研究を継続していく。特に、複数の同盟国が戦闘に参加している場合において生じる裁判管轄権をめぐる問題などについては更に研究を深めていきたい。</p>